

Ⅱ 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するために取るべき措置について

小項目	コメント
震災復興への支援	技術支援のための企業訪問や共同研究の実績は高く評価できる。
	企業に直接出向いてニーズの吸い上げをされている点を高く評価する。生産等安定化支援は復興支援において、ますます重要と思われるので、目標達成に向け引き続きよろしくお願ひしたい。
	とくにニーズ把握に不可欠な企業訪問数を大幅に計画目標を超えて達成したことは高く評価される。
技術相談	企業等の技術相談は基本的業務の一つであり、着実に成果を上げている。
	技術評価解決度98%は特に評価できる。
	企業訪問件数、技術相談件数、利用企業の満足度、相談解決度ともに目標を上回っている。工業技術センターの認知度と信頼の高さが伺える。AA評価としてよいのではと感じた。
	企業訪問数／技術相談件数／利用企業満足度／技術相談解決度いずれも目標を達していることを高く評価する。実際利用した上でも非常に親身に対応し、企業の問題解決に大きく貢献していると思われる。評価をAAとしても良いかなと思う。
	件数の数値目標のみならず、顧客の高い満足度・解決度を得たことは高く評価される。
依頼試験等	企業等の依頼試験等及びその満足度は高く評価できる。
	依頼試験等件数が目標値154%、顧客満足度の高さも、素晴らしいと思う。目標値の設定については、もう少し高くても良いのではとも感じたが、メンテナンスされていない機器があり計測できないものがあったとの回答から推測すると、限られた施設、職員数の中では適正とも思料される。
	依頼試験件数、企業の満足度ともに目標を上回ったことを高く評価する。
	件数・満足度を目標値より大幅に上回ったことはAA評価にふさわしい。
設備機器貸出	機器貸出については企業等のニーズに応えている。
	新しい施設や機器の導入もあり、今後さらに期待したいと思う。
	新設された「電波暗室」の今後の利用が大きく期待される。利用促進のPRのため県のホームページ等も活用されたい。

小項目	コメント
戦略的な研究開発	引きつづき外部資金の獲得に努めて欲しい。
	外部資金獲得に向けたご苦労をお察し申し上げます。
	外部資金獲得について目標未達成としつつも、成果報告件数も目標に際し大きく上回っていること評価する。
	外部資金獲得額が未達であったので、B評価はやむをえないが、近年の各資金競争激化に応じて岩手県工技センターのポテンシャルを生かした独自性を強調した提案内容はもちろん、大学との連携提案、プレゼンなどにさらに一工夫されたい(キーワードの活用など)。
県政課題等解決のための重点研究	県政課題等解決のため重点的に研究開発を推進している。
	一見細かい地場案件にも対応しており、評価される。
企業ニーズに対応した共同研究及び受託研究	企業ニーズに対応した共同研究および受託研究を推進している。
	満足度100%は特に評価できる。
	他の項目にも波及するが、企業ニーズの把握が必須であり、とくに過去に工技センターと関わりのなかった企業に対する認知度の向上により一層努められたい。
技術シーズ創生研究	技術シーズ創生研究を段階的に着実に推進している。
	センターの重要な役割の一つであり、今後ともますます注力されるべきであるが、限られた人的資源を有効に用いる点からも将来の市場マーケティング(開発される技術シーズが実用化・商品化される可能性の事前評価)に留意されたい。
研究成果の市場化促進	研究成果の事業化支援の取組が着実に成果を上げている。
	センターの重要な役割の一つであり、今後ともますます注力されるべきであるが、限られた人的資源を有効に用いる点からも将来の市場マーケティング(開発される技術シーズが実用化・商品化される可能性の事前評価)に留意されたい。

小項目	コメント
新産業創出及び新分野進出への支援	新産業創出および新分野進出に向けて多数のプロジェクトに取り組んでいることは高く評価でき、「AA」評価が妥当である。
	取組プロジェクト件数が目標を大きく上回っており、特に評価できる。
	目標を大きく上回る取組プロジェクト数から、AA評価としてよいのではないかと思う。
	取り組みプロジェクト数が目標の倍以上と大きく上回っており、積極的に企業等に対する技術支援を行ってきたと推察される。大いに評価するとともに今後も期待している。
	県の施策とも整合し、数値目標が達成されたことは評価される。
ものづくり成長分野への進出支援	ものづくり成長分野への支援を積極的に実施している。
	県内企業の特성에応じて積極的に技術支援等を行っており評価される。
食産業及び伝統産業分野への支援	食産業および伝統産業分野への支援を積極的に実施している。
	食産業もさることながら、伝統産業分野においても、フィンランドデザイナーとの連携交流を通じた新商品開発支援を行うことにより、民間主体の新しい動きも発生している。とても丁寧なサポートをしていることを大きく評価したい。評価をAAとしても良いかなと思う。
	先端分野のみならず地域資源活用の観点から地場産業に貢献しうることが県工技センターの重要な使命であり、種々の取り組みは高く評価される。
ものづくり革新への対応	ものづくりイノベーションセンターを整備し、ものづくり革新への対応が十分に図られている。
	ものづくりイノベーションセンターの整備により、次世代技術の研究開発の支援が深まることを期待している。このセンターがより必要な企業に活用されるよう今後もPRしてもらえたらと思う。
	食産業・伝統産業とともにいわば両輪にあたる使命であり、次世代を見据えた先導的な取り組みは評価されるが、具体的な一貫した支援機能のさらなる強化(コストまで見据えた)が望まれる。

小項目	コメント
海外へのビジネス展開支援	企業の海外へのビジネス展開を支援する取組を着実に実施している。
	海外に向けたビジネスの展開は、首都圏に限らず地方からの発信が大いに期待される昨今、様々な形で企業支援されていることを大いに評価したい。評価をAAとしても良いかなと思う。
	県や市と協力してJICA・世界銀行などの枠組みで利用できるものがないかリサーチされたいかがか。
連携の推進	連携推進室を中心として県内外の関係機関との連携交流が強化されている。
	望ましい進展が図られていることは評価されるが、他県のセンターとの課題重複の有無など一層の効率化を図られたい。
企業人材の技術高度化支援	企業人材の技術高度化支援のために多様な取組を行い、実績と成果を上げていることは高く評価できるので、「AA」評価に値する。
	数値目標は件数・満足度両面で十分に達成されており、特に評価できる。
	講習会開催件数や技術人材受入研修件数他、いずれも目標を大きく上回っている。人材の育成は不可欠であり、積極的な活動は大いに評価したい。評価をAAとしても良いかなと思う。
	本項目でセンターが十分機能を果たし、高い満足度を得ている事が窺え、A評価にふさわしい。
次代を担う産業人材の育成	次代を担う産業人材の育成の取組を着実に実施している。
	インターンシップの受け入れ要望に全て応えられ、ご苦勞もあつたと思われる。次代を担う産業人材育成は、岩手県にとってきわめて重要と考える。社会貢献としての位置付け以上に、産業人材育成に寄与でき、職員の負担軽減も図りながら職員の研修につながる効果的な手法がインターンシップ以外にも様々ある。これからも工業技術センターにあつた形での次世代産業人材育成に一層取り組まれることを期待する。
	三次元デジタルものづくりは今後も活用の範囲が広がると思われ、今後の継続的な技術者育成は不可欠と思われる。今後も継続した積極的な取り組みを期待する。
	本項目でセンターが十分機能を果たし、高い満足度を得ている事が窺え、A評価にふさわしい。

小項目	コメント
技術移転	技術移転に積極的に取り組んでいる。
	全研究部で実績があったことは評価される。
知的財産の取得・保護	知的財産の取得・保護に積極的に取り組んでいる。
	事務系だけでなく、技術系職員も知的財産の意義・取得・保護について見識を高められることを期待する。
情報の発信	研究開発成果、保有設備やサービス等の情報を積極的に発信している。
	1日のみ開催の一般公開に1,460名の方が訪れたのは素晴らしい。一方、成果発表会は、専門的で難しく理解できないイメージがある。中高生も興味を持てるような敷居の低いもの、例えば、研究者自身とその方のメッセージを紹介したり、研究の魅力や可能性などを、より広く情報発信をすれば理系に興味関心を持つ生徒が増えるかもしれない。
	ホームページのリニューアル等で以前に比べてとても見やすいサイトになったと思う。ものづくりイノベーションセンターの新設もあったので、さらに岩手県民に知って頂けるよう今までのような活動を期待している。
	県のホームページ上で、工技センターに容易にアクセス・リンクできるように一層工夫されたい。

Ⅲ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するために取るべき措置について

小項目	コメント
組織運営の改善	業務方法書の改正や職員からの提案等による業務改善などに積極的に取り組んでいる。
	不断の組織運営改善が求められるうえで適切に対応されているようで評価される。
事務等の効率化・合理化	事務効率化の取組が成果をあげている。
	新施設(ものづくりイノベーションセンター)の開所などこれまでの業務以外の対応も多々あったと推察される中、超過勤務の縮小に務められたと思う。
	一律の超勤縮減は困難な面もあるが、改善推進チームを中心に一層の組織的対応を期待する。
職員の意欲向上と能力開発	職員表彰や職員研修によりモチベーションの向上を図っている。
	1年間での成果は見えづらい研究もあると思うので、なかなか表彰に結びつきづらい研究者への配慮をお願いしたい。
	外部機関による表彰は特筆される。職員満足度調査結果の活用が望まれる。
環境・安全衛生マネジメント及び職場環境の充実	環境マネジメントおよび安全衛生マネジメントの取組を計画的に実施している。また、女性職員が活躍できる職場環境の整備に努めている。労働災害や交通事故が発生していない。
	定期健康診断受診率100%、労働災害、交通事故0ともに素晴らしい。
	エネルギー使用量の削減に継続的に努めていると評価する。
	メンタル面での健康診断あるいはアンケート調査等は実施しているか。未実施であれば検討を。
コンプライアンスの強化及び社会貢献活動の実施	コンプライアンスに関する取組は計画どおり進められているが、情報セキュリティ意識を醸成する取組を期待する。 情報公開や社会貢献活動は積極的に取り組まれている。
	中学高校への職員派遣要請にも応じられた。次代を担う産業人材育成の視点からも、より積極的に小中高校への情報発信など期待する。
	コンプライアンスはグレーゾーンの部分がある。職員の一層の理解を深めるために、例えばウェブサイトでe-ラーニング*やコンプライアンス・マガジンなどで一層の周知徹底を検討されたらどうか。 * 情報技術(パソコン等)を用いて行う学習(学び)のこと

IV 財務内容の改善に関する事項

小項目	コメント
外部研究資金その他の自己収入の確保	自己収入の確保に努め、目標額を達成している。
	自己収入額は目標を上回っている。これはセンターの設備等を広く知らしめる努力をしてきたものと思われる。ものづくりイノベーションセンターの活用もさらに広く知らしめ、今後も自己収入増加につなげることを期待する。
	外部資金獲得額が目標未達であったが、近年の各資金競争激化に応じて岩手県工技センターのポテンシャルを生かした独自性を強調した提案内容はもちろんだが、大学との連携提案、プレゼンなどにさらに工夫されたい(キーワードの活用など)。
経費の抑制	総体として2千8百万円あまりの剰余金を確保した。
	年々経費の削減を推進していることが数字に現れていると思う。ものづくりイノベーションセンターが開設され、次年度は同じようにいかないと察しますが、継続した経費削減の努力はこれまで通り継続していかれることを期待する。 努力は大いに評価したいと思う。
	適正と思われる。

VIII その他業務運営に関する重要事項

小項目	コメント
試験研究機器の整備・活用	試験研究機器の更新・管理が計画的に実施されている。
	適正と思われる。
施設・設備の計画的な修繕・整備	ものづくりイノベーションセンターの整備が進んだ。
	中長期計画に基づいて実施されていることは評価される。
人事に関する計画	専門人材の確保と研修への派遣による資質向上に努めている。
	専門性の高い職種の継承や外部研修等の積極的活用を図っている点は評価される。

■総合評価コメント

コメント
<p>平成29年度において、ほとんどの計画が計画どおり進んでいると評価される。おおむね計画どおり進んでいると評価されている計画も9割以上の達成度である。以上より、第3期中期目標、中期計画の達成に向けて着実に業務を遂行していると評価される。</p>
<p>業務は計画通りに進んでおり、順調に業績を上げていると評価できる。</p>
<p>岩手県の技術支援の拠点として、29年度の計画目標の殆どを達成され、素晴らしいと思う。 岩手県の未来を担う小中高生が、ものづくりをはじめとした工業技術や技術者、研究者に対しての憧れや尊敬、興味を持つ機会を得られるよう、また、技術支援にかかわるご苦勞を乗り越えたストーリーなどが広く一般にも伝わる機会を得られるよう、伝わりやすいホームページの工夫や、より積極的に学校現場などに情報発信していただけることを期待する。</p>
<p>どの項目においても、とても努力されていると思う。目標を大きく上回る実績も多く、高く評価したいと思う。県内企業への支援も厚く丁寧な対応をされていることを実感することも多々あり、今後も継続した支援活動を期待している。ものづくりイノベーションセンターに対する期待も大きく、県内外からの活用を促すことができ、広く工業技術センターの活動が知れ渡るよう期待する。</p>
<p>独法化以前から本センターの評価に携わってきた者として、その間一貫して本センター業務・研究等において業績向上がみられることは喜ばしい。今後ともより一層の質の向上を期待する。</p>